

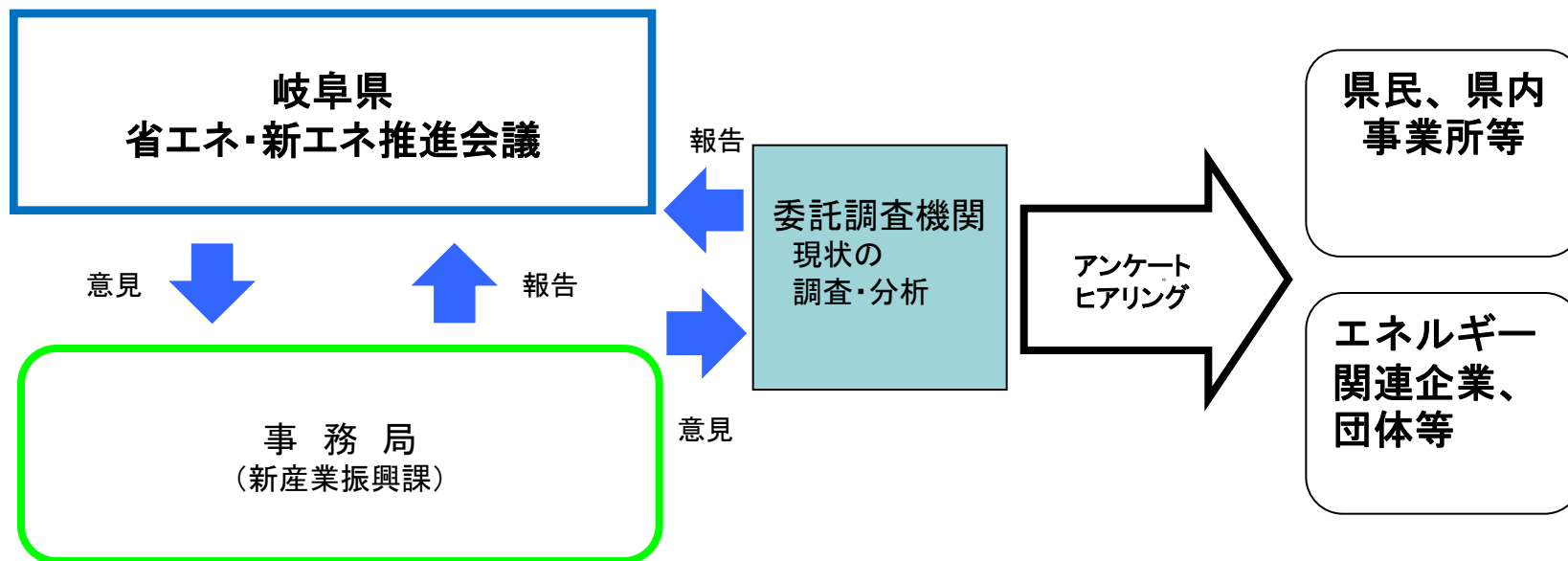
# 岐阜県次世代エネルギービジョンの 改定について

平成27年6月11日

岐阜県 商工労働部 新産業振興課

# 岐阜県次世代エネルギービジョン改定の体制

## ○実施体制



## ○改定スケジュール(予定)

- 6月11日 【第1回会議】 策定方針の検討
- 7月中旬 各種調査、企業・各協議会等との意見交換結果取りまとめ
- 8月 【第2回会議】 現行ビジョンの評価・骨子案検討
- 9～10月 骨子案に対する企業・各種協議会等との意見交換
- 11月 【第3回会議】 素案検討
- 12月 議会説明、パブリックコメントの実施
- 1月 【第4回会議】 最終案検討
- 2月 公表

# エネルギービジョンの改定の基本方針

## 現行の次世代エネルギービジョン

- 民生家庭部門に特化したビジョン
- 住宅用太陽光発電の導入を促進するためのシステム「次世代エネルギーインフラ」の普及促進

実証

省エネルギー対策の重要性の再認識

エネルギーインフラの有効性(エネルギー効率、非常時活用)確認

製品開発に有用なデータ取得

## 岐阜県成長雇用戦略

**ゼロエネハウスプロジェクト**  
健康で快適な岐阜県版ゼロエネハウス

道の駅などの避難所への積極的導入→導入時に県内企業の活用

連携

**次世代エネルギー産業創出コンソーシアム**

## 大きな変革

### 省エネ基準の適合義務化

- ・2020年新築は基準適合、2030年新築標準がZEH・ZEB
- ・省エネ投資の市場14兆円(現在)→50兆円(2035年)

### 国土強靱化

- ・CGS等の地域における自立・分散型エネルギーの導入促進
- ・バイオマス、水等の地域活性化に資する再エネの導入の推進

### 電力システム改革

- ・規制部門7兆円の市場開放、全体20兆円の市場も活性化
- ・足りている時は価格低下、不足するときは高騰
- 需要サイドは省エネ・節電、リスクヘッジとして分散型

### 水素社会

- ・家庭用燃料電池に加え燃料電池自動車の普及開始
- 電気、熱(化石燃料)に加え水素も2次エネルギー
- ・水素・燃料電池関連の市場規模1兆円(2030年)、8兆円(2050年)

## 進むべき方向性(素案)→岐阜県の特徴を活かした着実なエネルギー施策の展開

- 省エネルギー対策の促進→省エネルギービジネスの育成。健康+快適+省エネによる県内住宅産業の活性化
- 地域に根付いたエネルギー産業の振興→森水という岐阜県のパテンシャルをビジネスに。
- 地域の非常用エネルギーとして再エネの活用→国土強靱化
- 内陸県として向かうべき水素社会→再エネ水素の供給量と水素需要のバランス維持の可能性

# 岐阜県次世代エネルギービジョン改定の検討項目

## 背景

- ◆ **東日本大震災を踏まえたエネルギー政策の転換**  
新エネルギー基本計画が閣議決定（H26. 4）、電源構成案の提示（H27. 6）
- ◆ **社会情勢の変化**  
電力システム改革、省エネ基準の適合義務化、国土強靱化、水素社会の実現
- ◆ **技術革新**  
スマートグリッド、スマートコミュニティ、燃料電池自動車等

## 現行ビジョンの達成状況・評価

- ◆ **現行エネルギービジョンにおける3つの視点**
  - 省エネルギー推進、エネルギー・技術のベストミックス、コスト重視の技術導入
- ◆ **現行エネルギービジョンにおける将来目標値**
  - EV・PHV、太陽光発電、次世代エネルギーインフラの導入
- ◆ **目標を実現するための取り組み**
  - 省エネルギーの推進（EV・PHVの普及促進）
  - 新エネルギーの導入促進（太陽光発電、木質バイオマス、小水力）
  - 次世代エネルギーインフラ本格普及の準備

## 新エネルギーの導入検討

### ◆**現行ビジョンで導入を推進中**

太陽光発電、バイオマス熱利用、小水力発電、燃料電池、ガスコージェネ、クリーンエネルギー自動車

### ◆**その他の新エネルギー**

太陽熱利用、風力発電、雪氷熱利用、バイオマス燃料製造、地熱発電、バイオマス発電

## 施策の方向性

### ◆**岐阜県の特徴を活かした着実なエネルギー政策の展開**

### ◆**展開する施策**

- 岐阜県の特徴を活かしたエネルギーの導入促進→豊富な森水、水素社会実現
- 省エネルギー対策の促進→省エネルギービジネスの育成
- 新エネルギーの導入促進による産業振興
  - ・健康＋快適＋省エネによる県内住宅産業の活性化
  - ・次世代エネルギー産業創出コンソーシアムなど産学官連携による技術開発

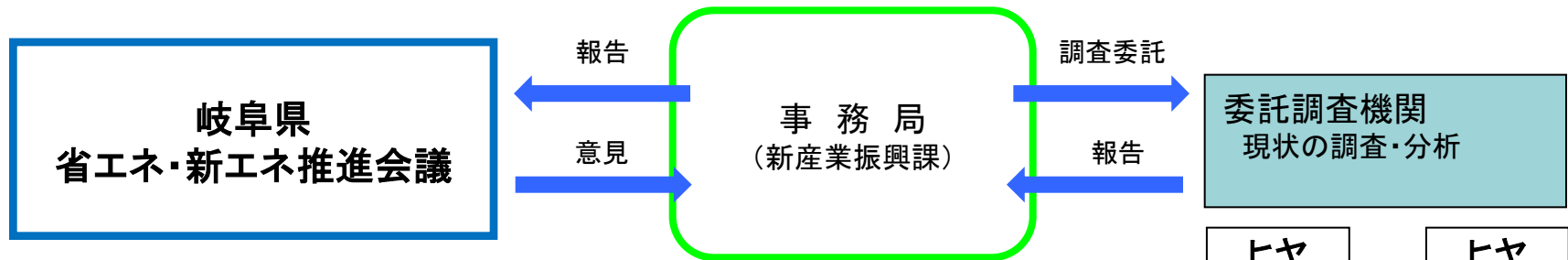
## 成果指標・目標の設定

○2016年(平成28年)から2035年(平成47年)まで、5年間隔で設定



# 岐阜県次世代エネルギービジョン改定の体制

## ○実施体制



## ○改定スケジュール(予定)

- 6月11日 策定方針の検討
- 7月中旬 各種調査、企業・各協議会等との意見交換
- 8月 現行ビジョンの評価・骨子案検討
- 9～10月 骨子案に対する企業・各種協議会等との意見交換
- 11月 素案検討
- 12月 議会説明、パブリックコメントの実施
- 1月 最終案検討
- 2月 公表

